

教 育 委 員 会 だ よ り

第3回じょぐら祭開催される!

上ノ国観光ガイド協会・上ノ国町教育委員会・上ノ国町生涯学習推進本部の共催による「じょぐら祭」が2月18日、ジョイ・じょぐらで開催され、悪天候にもかかわらず約60名が参加しました。

今回で3回目となる「じょぐら祭」は、少しでも多くの皆さまに伝統文化を体験してもらおうと行っ

ているもので、けん玉やメシコなどの昔遊びが用意されていたほか、上ノ国町赤十字奉仕団による「袋でゴハン作り体験」やもこもこによる絵本の読み聞かせなどが行われました。

また、親子料理教室では、栄養士の指導のもと、龍神巻と呼ばれるキヌサヤエンドウの海苔巻きに挑戦。初めて作る子もおり少し手間

取っていました。が、できあがったものを「おいしい」といいながらほお張っていました。



大人の指導の下けん玉に挑戦



袋でゴハン作り体験



もこもこによる絵本の読み聞かせ



親子で協力して龍神巻を作る



ポン菓子が無料で振る舞われる

子どもの成長を実感！ 保育所・小学校連絡協議会研究会行われる

このほど保育所・小学校連絡協議会主催の研究会がジョイ・じょぐらで開催さ



子どもたちの成長と課題を共有する参加者

れ、町内保育所や小学校などから17名が参加しました。はじめに「上ノ国保育所の年長児の様子」と「上ノ国小学校1年生の学級の様子」についてそれぞれ報告がありました。

上ノ国保育所からは、子どもたちは好奇心旺盛で様々なことに挑戦しています。その頑張っている姿を互いに認め合い、励まし合

いながら仲間関係を広げ深めており、このことが小学校へも繋がっていけばと話していました。一方で、「飽きっぽい」「自分本位な幼さも見られる事」などの課題も報告されました。

上ノ国小学校からは、入学当初は落ち着かないところもあり、また、学校で頑張った分、家に帰るとすぐ寝てしまったため課題を出せない子が多かったそうです。しかし、現在では進んで学習に取り組むなど頑張っている様子が報告されました。

その後、分散会では、河北保育所や河北小学校、滝沢小学校からの報告があり、それぞれの成果や課題などが話されました。また、保健師や子ども発達支援センター職員からも、子どもたちの健康や成長に関する話題もだされ、子どもの成長を実感するとともに、課題を共有して今後の指導に生かすことを確認して終了しました。

その7 「汐吹岩のレリーフ」



汐吹の地名の由来なった汐吹岩

- ・汐吹岩は地名のいわれとなった岩で、大きな穴があいており、波がぶつくと鯨の汐吹きのように汐が吹いていた。
- ・汐吹漁港の防波堤改修工事のため平成7年までに取り壊され、その後、レリーフとなって残された。

ぼくらの マイ文化財

歴史文化基本構想策定にあたり把握した地域の様々な文化について紹介します。